

6. 地域活動の組織

地域活動とは、住民同士がつながりを深め、住み良い街にするために、住民が自主的に、一般にボランティアとして取り組む活動です。お祭りや盆踊りといった住民の交流を深める行事や、交通安全や防犯、防災に関する活動、公園の清掃など環境美化に関する活動、スポーツ行事や高齢者の見守り活動といった住民の健康づくりや福祉に関する活動など、様々な活動が行われています。

なお、昔の地域活動に関する記録書類は思いの外少なく、現在の活動を中心に、分かる範囲で過去のことを記載しました。

6.1 明原町会

<町会の創成期>

東葛市が誕生し、柏市と改称される以前、現在の明原地区は柏町に属していました。残念ながら、柏町の行政資料は殆ど残っていません。しかし、3.1 項で紹介したように、柏町の「昭和 27 年版柏町勢要覧」からは、大字篠籠田の東側の部分に町名「明原」があったことが分かります。但し、明原町会が組織されていたかの資料は残されていません。

昭和 29 年 11 月に柏市が誕生した後の資料では、右に示すように、昭和 31 年 1 月 20 日付けの柏市広報に、前年 12 月の柏駅前大火に対する災害見舞金品一覧表の記載があり、80 近くの町会名のなかに、明原町会や明仄町会の名前もあります。柏市誕生後、市内各所に町会が組織されたものと思われます。

但し、その後、昭和 50 年代後半に至る期間の明原町会の資料は極めて乏しい状態にあり、以下、包括的な記述にとどめさせていただきます。

創成期にご尽力された方々（敬称略）

小林 一	根本三郎	渡邊留吉	能重真太郎
長妻三郎	長島昌夫	村杉徳夫	劔持保治
廣田勇作	島根 謙	有井常治	西田理吉

※ 多くの方々が、柏市行政連絡員となり、町会代表（町会長）兼務もあったようです。

柏駅前大火での各町会の災害見舞金の記事

出所：柏市広報（昭和 31 年 1 月 20 日）

昭和 30 年 12 月 25 日におきた柏駅前大火の災害見舞金品の記事からとったものです。見舞金を贈った 77 町会が記されており、明原町会や明仄町会の名前もあります。

明原町会の見舞金の額は 12 番目で、当時から市内で比較的大きな町会であったことがうかがわれます。

（全 77 町会の一部を下記に示した）

大宮町会	正通町会	山崎町会	下町会	戸張町会	広池町会	古谷町会	藤心町会	三反二町会	松ヶ崎町会	板台町会	篠籠田東住町会	若葉町会	船台町会	呼塚町会	明原町会	増尾町会	前原町会	荒屋敷町会	土谷津町会	新田町会	名戸ヶ谷町会	寺山町会	新屋敷町会	小宮町会	末広町会
七二〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇

町会規約による運営が、昭和 56 年 4 月 1 日より開始されましたが、その当時の町会長は根本三郎氏でした。

表6-1-1 歴代会長・副会長

敬称略

<歴代役員等>

昭和 58 年以降、町会長、副会長を務められた方々を表 6-1-1 に示しました。

同じく、歴代の町会役員、理事の方を次頁の表 6-1-2、表 6-1-3 に示しました。

年度	会長	副会長
昭和58 ～ 昭和60	根本三郎	川野正夫 長妻三郎
昭和61	〃	簡功雄 〃
昭和62 ～ 昭和63	〃	〃 岩谷芳衛
平成元 ～ 平成2	岩谷芳衛	〃 中島守一
平成3	〃	池田芳三 〃
平成4 ～ 平成6	〃	〃 落合尚男
平成7 ～ 平成20	池田芳三	森橋留吉 〃
平成21 ～ 平成22	落合尚男	森 幸三 高桑三郎
平成23 ～ 平成24	〃	〃 岸田 隆
平成25 ～ 平成26	〃	〃 前田良三
平成27 ～ 平成28	〃	佐藤光男 〃

<町会概要>

明原地区の地域活動の中心は明原町会です。明原町会には、明原 1～4 丁目と、旭町、末広町、篠籠田の各一部が含まれています。2016 年現在の町会加入者は 1,213 世帯で、班の数は合計で 94 です。

柏市内には、300 近い町会・自治会等がありますが、明原町会は大所帯の町会です。

表6-1-4 明原町会の加入世帯数など(2016年)

地区	加入世帯数	班数
明原1丁目	207	21
明原2丁目	274	19
明原3丁目	457	30
明原4丁目	189	18
旭町地区	54	3
末広町地区	13	2
篠籠田地区	19	1
合 計	1,213	94

<現在の町会活動>

現在の明原町会の組織には、教育・文化部、環境部、福祉部、防犯・防災部があり、4 人の常任理事が各部のリーダーを務めています。主な行事として、「D51 ふれあい祭り」、「お花見会」、「明原まつり」、「敬老会」、「防災避難訓練」などを主催、共催しています。その他、表 6-1-5 に示すように、年間をとおして多くの活動を行っています。

表 6-1-5 明原町会の年間活動項目・会議例（2016 年度例）

4月	・花見会 ・総会 ・前期班長会議 ・防災会議	7月	・防犯指導員会議 ・団体連絡会議	10月	・防災会議 ・ふれあい文化祭(3日)
		8月	・まつり実行委員会(2回) ・盆踊練習会(3回) ・明原まつり準備 ・明原まつり(2日) ・明原まつり片付け	11月	・防災訓練 ・防災訓練反省会 ・さわやかあいさつ運動
5月	・D51ふれあい祭り ・団体連絡会議 ・ごみゼロ運動			12月	・年末パトロール(2回)
		1月	・新年のつどい		
6月	・ソフトボール大会 ・さわやかあいさつ運動	9月	・団体連絡会議 ・敬老会	2月	・後期班長会 ・さわやかあいさつ運動
				3月	・会計監査
毎月	・町会役員等による理事会(毎月1回) ・環境担当と有志による第二公園の里親活動(毎月2回) ・防犯担当と有志による柏中パトロール(毎月4回) ・防犯担当と有志による柏一小パトロール(毎月1回)				

表6-1-2 明原町会役員

年度	顧問	会長	副会長	副会長	会計	監査	監査	常任理事	常任理事	常任理事	常任理事
S.58 1983年		根本三郎	川野正夫	長妻三郎	岩谷芳衛		藤原新一郎	荒井孟雄	簡 功雄	蓮沼新一	
S.59 1984年											染谷良夫
S.60 1985年								渡辺 正			
S.61 1986年	香川博実								斉藤広光		白土辰雄
S.62 1987年				岩谷芳衛	斉藤広光	川野正夫	長妻三郎	池田芳三	中島守一	林 滋男	
S.63 1988年											
H.元 1989年	根本三郎	岩谷芳衛		中島守一		木村政信			金子みつ子	落合尚男	中野愛彦
H.2 1990年					池田芳三			関 清吉			衣笠 績
H.3 1991年					森橋留吉				榊 澄子		中原道喜
H.4 1992年				池田芳三			斉藤広光			司関昭二	岡崎岩根
H.5 1993年											北島 茂
H.6 1994年											
H.7 1995年	岩谷芳衛	池田芳三	森橋留吉	中原千恵子	岡崎黎子	西田義勝				矢島 洋	
H.8 1996年											高桑三郎
H.9 1997年				林 とき	福田仁子						
H.10 1998年											
H.11 1999年				吉田行宏	横山一郎	成嶋茂広	北島 茂	斉藤広光	福地秋夫	石井得治	
H.12 2000年											
H.13 2001年				志村かつ子	池田ミツ子		高木昇八	宇田川恵司	井上庄三		
H.14 2002年											
H.15 2003年				市山ゆり	廣田康子						
H.16 2004年								川野悦子			
H.17 2005年									染谷 忠	根本 勇	
H.18 2006年						石井得治					
H.19 2007年				鈴木 淳	福田道紀			柴山祥子	森 幸三		
H.20 2008年											
H.21 2009年	池田芳三	落合尚男	森 幸三	高桑三郎	秋元節子		森橋留吉	川野悦子	佐藤光男	岸田 隆	
H.22 2010年											
H.23 2011年				岸田 隆							前田良三
H.24 2012年											
H.25 2013年				前田良三	阿部郁子	根本 勇	岸田 隆			高品 高	小幡 孝
H.26 2014年											
H.27 2015年	森 幸三 福田道紀		佐藤光男		宇田川真貴				廣田博司	高橋宣康	小原幹房
H.28 2016年						大越英雄					

表6-1-3 明原町会歴代理事

年度	末広・旭町		明原一丁目		明原二丁目		明原三丁目				明原四丁目	
	相原重厚	中村礼子	禰 澄子	綱木三郎	安田雅明	濱崎哲史	斉藤 明	久世 望	一ツ柳昭三	合田吉男	浜島公平	吉田雄亮
S.58	1983年	荒井孟雄	田口健一	斉藤直哉	鈴木 勇	小林一夫	斉藤 明	秋山敏雄	桜田仁志	松戸由造	関口一枝	白土辰雄
S.59	1984年	荒井孟雄	林 和也	石崎重成	植木信雄	池田芳三	綿引哲二	中島守一	桜田仁志	鈴木治三郎	窪田吾一	栗原伊三
S.60	1985年	荒井孟雄	野々下信雄	肥田青三	石井 正	関 清吉	綿引哲二	大内祐吉	黒沢信之	大熊二三生	窪田吾一	栗原静江
S.61	1986年	荒井孟雄	島村和雄	佐伯昌俊	長塩幸一	宮川澄男	根本圭助	高木昇八	黒沢信之	大熊二三生	田中幸一	平川 進
S.62	1987年	荒井孟雄	丸山正春	柴原 繁	塩田利光	宮川澄男	斉藤 明	落合尚男	佐々木隆治	村越茂幸	竹内 薫	平川 進
S.63	1988年	荒井孟雄	軽部武二	岡田節夫	山田君江	宮川澄男	斉藤 明	落合尚男	山中英行	館田 崇	高田 浩	岸田 隆
H.元	1989年	荒井孟雄	藤木弘樹	木村英樹	三沢伸志	深谷晃史	山崎博信	久世 望	深野政頼	南部芳栄	高田 浩	本橋洋行
H.2	1990年	梶田勝次郎	春木米子	道脇公彦	堀口雄一	酒巻正和	森 幸三	久世 望	浜口正喜	宮本猪三男	中村弘平	本橋洋行
H.3	1991年	金窪貞次	岡本正治	福地秋夫	大和田洋子	酒巻正和	岡田 勇	久世 望	炭田作郎	小柳徳茂	増田 進	白土菊江
H.4	1992年	辻 一郎	田中 滋	田代 充	川口啓子	酒巻正和	野草秀夫	濱田貞吉	石井得治	野口義江	福島捷治郎	安 信次
H.5	1993年	黒川達子	加藤泰久	高津三平	角田トクノ	上野生顕	平沢正信	濱田貞吉	山下 宏	鳥垣卓嗣	山田富子	小宮山登代子
H.6	1994年	西田義勝	有井 孝	鈴木準一	萩原綾子	染谷松三	菅井伸吉	濱田貞吉	根本 勇	横山一郎	椎名トヨ	江川久枝
H.7	1995年	西田義勝	有井 孝	柴山勇二	大森いく子	横川長治	菅井伸吉	清水辰猪	根本 勇	大森正三	石福一雅	鈴木徳治郎
H.8	1996年	成嶋茂廣	有井 孝	飯田 精	木村百合子	横川長治	菅井伸吉	清水辰猪	根本 勇	浦田敏晴	浜田二男	古宮金雄
H.9	1997年	成嶋茂廣	有井 孝	酒井健治	神原行雄	北野 進	井上庄三	清水辰猪	根本 勇	伊東芳和	浅内洋英	金子和夫
H.10	1998年	深野拓一	野村光輝	松尾妙子	神原行雄	北野 進	井上庄三	清水辰猪	根本 勇	中井 修	村上勝行	能重眞作
H.11	1999年	深野拓一	田中雄三	宇田川恵司	土谷美知子	濱崎哲史	内堀孝雄	清水辰猪	根本 勇	今村 衡	沼田 正	能重眞作
H.12	2000年	根本靖正	渡辺幹雄	宇田川恵司	土谷美知子	濱崎哲史	内堀孝雄	清水辰猪	根本 勇	今村 衡	安藤 孝	天野 昇
H.13	2001年	根本靖正	川野正美	宇田川恵司	土谷美知子	染谷 忠	菅井伸吉	清水辰猪	根本 勇	今村 衡	高木 修	天野 昇
H.14	2002年	増田多美	丸山布美江	宇田川恵司	山田君江	染谷 忠	菅井伸吉	大内邦夫	根本 勇	横山一郎	松本 茂	天野 昇
H.15	2003年	増田多美	深山 進	小川悦子	菅井松江	染谷 忠	菅井伸吉	大内邦夫	根本 勇	横山一郎	松本 茂	天野 昇
H.16	2004年	関口清高	佐伯慶子	小川悦子	磯 國子	染谷 忠	森 幸三	大内邦夫	根本 勇	横山一郎	松本 茂	天野 昇
H.17	2005年	関口清高	大西典子	薄井裕子	角田トクノ	佐藤光男	森 幸三	大内邦夫	根本 勇	横山一郎	松本 茂	天野 昇
H.18	2006年	梶田幸直	岡田三年子	小川悦子	関瀬四郎	佐藤光男	森 幸三	大内邦夫	根本 勇	横山一郎	松本 茂	天野 昇
H.19	2007年	梶田幸直	田上節郎	林 和也	長妻和美	佐藤光男	太田正陽	大内邦夫	根本 勇	横山一郎	松本 茂	天野 昇
H.20	2008年	成嶋茂廣	染谷啓子	林 和也	大谷貞夫	佐藤光男	太田正陽	大内邦夫	根本 勇	横山一郎	松本 茂	天野 昇
H.21	2009年	成嶋茂廣	勝柴和子	林 幸子	塩田育子	田中尚義	太田正陽	大内邦夫	根本 勇	横山一郎	松本 茂	天野 昇
H.22	2010年	深野拓一	木村邦子	森実倫子	小林盛男	田中尚義	太田正陽	大内邦夫	根本 勇	横山一郎	松本 茂	天野 昇
H.23	2011年	深野拓一	岡崎黎子	森実倫子	小林盛男	田中尚義	太田正陽	大内邦夫	根本 勇	横山一郎	松本 茂	天野 昇
H.24	2012年	根本靖正	藤澤幸子	森実倫子	磯 國子	田中尚義	太田正陽	大内邦夫	根本 勇	横山一郎	松本 茂	天野 昇
H.25	2013年	根本靖正	田上裕子	林 和人	加藤陽子	関 博良	廣田博司	長坂幸夫	根本 勇	横山一郎	松本 茂	天野 昇
H.26	2014年	関口清高	田中雄三	林 和人	井上フミコ	関 博良	廣田博司	長坂幸夫	根本 勇	横山一郎	松本 茂	天野 昇
H.27	2015年	荒井康雄	福地歩美	林 和人	小林盛男	高城知行	富岡建治	長坂幸夫	根本 勇	横山一郎	松本 茂	天野 昇
H.28	2016年	荒井康雄	道脇和代	是枝希久夫	小林盛男	高城知行	富岡建治	長坂幸夫	根本 勇	横山一郎	松本 茂	天野 昇

また、柏市等の要請による下記事項も町会の活動です。その他、5年に一度のことですが、町内の国勢調査に係る業務もその一つです。

- ・行政連絡業務：市からの回覧・配布物を定期的に取りまとめ、町会で回覧等を行う。市からは行政連絡業務交付金が支給されています。
- ・ごみ集積所の設置管理：集合住宅を除き、町会内に設置するごみ集積所は町会長が申請し、設置後は町会長および会員が衛生の保持に努める。
- ・防犯灯の設置・維持管理：防犯灯の設置及び維持管理を行う。市からは防犯灯維持費、防犯灯設置費、防犯灯修繕費に対する3種類の補助金が支給されています。

＜町会の予算＞

町会の収入は、町会費の他に、上記のような柏市からの要請事項に対応した補助金などがあります。

一方、支出は町会主体の活動に対するものに加え、後述するその他の町会組織に対する補助金や、明原町会をこえる広域の地域活動組織に対する分担金などが含まれています。また、柏市からの要請事項を行うための支出もあります。詳しくは、毎年明原町会の総会資料に報告されています。

6.2 その他の町会組織

＜明原第一・第二寿会＞

昭和38年8月に老人福祉法が施行され、それを受け同年に柏市内で35の老人クラブが発足しました（柏市史年表）。なお、柏市老人クラブ連合会のウェブページによれば、2016年現在は100前後の老人クラブが加盟しています。

明原寿会は、昭和38年11月30日「明広老人クラブ」として発足しました。当時、柏駅以西の末広町を含む、かなり広範囲の区域が対象のようでした。

昭和49年「末広白寿クラブ」が分離独立、同52年「第一明原寿会」及び「第二明原寿会」がそれぞれ独立しました。第一は明原1・2丁目と末広・旭町の一部、第二は明原3・4丁目と篠籠田の一部が対象地域です。

平成4年、名称を現在の「明原第一寿会」、「明原第二寿会」に変え、連携を保ちながらも、県老人クラブ憲章や、それぞれの会則に準拠し、活動を積み重ねています。両寿会は柏市老人クラブ連合会柏第一西支部の所属です。

「融和・協調・親睦」をモットーに、社会貢献と自己研鑽を目指しています。

（明原第二寿会 創立45周年記念誌より）

＜明原親子会＞

地域の子供たちへの「心くばり」は、余暇の善用の上からも大切にされてきました。「潮干狩り」や「野球大会」など、楽しい催しが続いていました。

そのような流れの中で、明原親子会は、昭和37年4月1日に発足しました。明原町内居住の学童、及びその保護者により組織され、学童の校外生活の善導、青少

年健全育成、保護者間の親睦を目的にしています。

主な行事として下記を行っています。

- ・新入生歓迎会、卒業生を送る会等の各種イベントの開催。
- ・ラジオ体操、ふわどっち大会、綱引き大会（柏まつりにて）、グランドゴルフ交流（明原寿会共催）等のスポーツ行事の開催、参加。
- ・D51 ふれあいまつり、明原まつり（こども神輿等）、敬老会への参加協力等、多彩な活動を展開しています。また、保護者による「地域パトロール」も定期的に実施しています。

<明原町自主防災会>

構成メンバーは明原町会と重なっていますが、町会とは別の組織として明原町自主防災会があります。詳しくは 7.5 項に記載しました。

6.3 地域活動の広域組織

以下に、明原の枠を越える地域活動を行っている主な組織を示します。

<豊四季台地域ふるさと協議会>

ふるさと協議会は、昭和 55 年以降、各地域の近隣センターを活動拠点として設立されました。豊四季台地域ふるさと協議会には、明原、あけぼの等を含めて合計 13 町会が参加しています。

町会等の枠を越えて、地域のコミュニケーションを図りながら、街づくりを行ってゆく組織です。町会・自治会長のほか、子供会、老人会、民生委員・児童委員、健康づくり推進員、青少年育成団体などで構成され、「各種団体間の調整」、「住みよい地域づくり」、「防災・安全」、「生涯学習・文化活動」、「体育活動」、「生活環境の向上」、「地域福祉の増進」等を事業として、「安心・希望・支え合い」のまちづくりを推進しています。

<豊四季台西地区社会福祉協議会>

社会福祉協議会は、「安心して暮らせる健康福祉のまちづくり」を推進する団体です。豊四季台西地区社会福祉協議会は、柏市内にある 22 の地区社会福祉協議会の一つで、地区の住民により運営されています。

地区社会福祉協議会のホームページによれば、主な活動として、ふれあいサロンの開催・支援、子育てサロンの開催・支援、見守り、訪問支援活動、多世代・世代間交流活動、福祉イベント事業、研修会、講座等の企画・開催、地区懇談会の開催、福祉意識の醸成などを行っていると考えられます。

<その他の広域組織>

その他にも、「柏中学区学校支援協議会」、「地区青少年健全育成推進協議会」、「スポーツ推進委員協議会」、「各種サークル」などの組織があります。また、消防団は

非常勤の特別職の地方公務員ですが、地域を支えるボランティア活動です。「柏消防団第二方面第五分団（篠籠田）」は明原を対象地域に含む組織です。

6.4 地域を支える各種委員

柏市長などの委嘱を受け、下記のような委員の方々が地域を支える活動を行っています。なお、以下に示した委員の人数は、2016年現在のものです。

<民生委員・児童委員>

厚生労働大臣の委嘱で任期は3年です。現在、柏市の民生委員・児童委員の定員は542名で、明原では7名の方が委員を務めています。

主に次のような活動を行っています。①住民の実態や福祉需要の把握。②地域住民がかかえる福祉問題への相談。③社会福祉の制度やサービスについての情報を住民へ提供。④住民の個々の福祉需要を関係行政機関、施設・団体などへ連絡。⑤住民の福祉需要への適切なサービス提供を調整・支援。⑥住民の求める生活支援体制の整備及び活動。⑦問題点や改善策について、関係機関への提起。

<柏市民健康づくり推進員>

柏市長の委嘱で、任期は3年です。現在、明原では4名の方が推進員を務めています。

主に次のような活動を行っています。①市民の生涯を通じた地域ぐるみの健康づくりの実施。②こんにちは赤ちゃん事業(生後4か月までの乳児のいる家庭の全戸訪問)。③地域ぐるみの子育て支援(母と子のつどい等)。④健康づくり・子育て支援に関する情報の収集及び提供。⑤健康づくり・子育て支援に関する各種研修会への参加。⑥その他市民の主体的な健康づくりに関し必要な事項。

<柏市明るい選挙推進委員>

柏市選挙管理委員会委員長の委嘱で任期は2年です。現在は明原の方の委員はいません。平常時および選挙時における啓発活動を行うとともに、期日前投票所の投票立会人を務めています。

<投票立会人>

選挙期日毎に、柏市選挙管理委員会委員長により委嘱されます。現在、明原では4名の方が投票立会人を務めています。

<柏市防災推進員>

柏市長の委嘱で、任期は2年です。現在、明原では2名の方が推進員を務めています。①自主防災組織への知識及び技術の普及。②地区災害対策本部と自主防災組織間の災害情報伝達、などを任務としています。

＜柏市防犯指導員＞

柏市防犯協会の委嘱により、現在市全体で 900 名近く、明原では 13 名の方が柏市防犯指導員を務めています。防犯指導員は、防犯協会、警察、市その他関係機関と連携し、地域の防犯活動の中心を担っています。

＜消費生活コーディネーター＞

柏市長の委嘱で、任期は 2 年です。現在明原の方の委員はいません。次のような活動を行っています。①サロン等での啓発活動。②消費者講座の企画及び実施。③消費生活に関する情報の収集及び提供。④消費生活に関する研修会等への参加。

＜行政連絡員＞

市政の円滑な推進のため、行政連絡資料の配布・回覧及び掲示、各種委員の推薦・ごみ集積所の設置管理等を、町会などの地域組織に委託するために、市長から委嘱されたものです。

行政連絡員制度は昭和 34 年度から平成 7 年度まで行われ、平成 8 年度からは同業務の委託先は町会等に改められました。明原では、下記の方が過去に行政連絡員を務めています。

表6-4-1 歴代の明原の行政連絡員

敬称略

年度	行政連絡員				
昭和34 ～ 昭和35	能重真太郎				
昭和36 ～ 昭和40	根本三郎	長妻三郎			
昭和41	長島昌夫				
昭和42 ～ 昭和44	村杉徳夫				
昭和45	廣田勇作				
昭和46 ～ 昭和49	剣持保治				
昭和50 ～ 昭和53	小林 一				
昭和54 ～ 昭和62	根本三郎				
昭和63	岩谷芳衛	簡 功雄			
平成元 ～ 平成3	金子 勇	関 清吉	岩谷芳衛	平川通子	
平成4 ～ 平成6	稲生玲子	関 清吉	岩谷芳衛	平川通子	
平成7	稲生玲子	関 清吉	落合尚男	高桑三郎	

7. 主な町会行事・活動

7.1 明原まつり

明原の最大のイベントは「明原まつり」です。毎年、8月のお盆休み明けの土曜、日曜に行われている盆踊り大会です。

昭和47年頃には西口第一公園で「盆踊り大会」が行われていたようですが、「明原まつり」名称で、柏中の校庭を会場に行われるようになったのは平成2年からです。平成28年で27回になります。2日間のうち、雨天で1日が中止になったのが4回あり、2日とも雨天で柏中体育館で行われたことが1回あります。最近の参加者数は、2日間の延べ人数で1,000名に達しています。表7-1-1に、あけはら祭りの経緯を示しました。

表7-1-1 「明原まつり」の経緯

敬称略

年度	名称	実施日	実行委員長	2日の天気	特記事項
昭和61	盆踊り大会	8/9,10	—	○ ○	
" 62	"	8/1,2	—	△ △	
" 63	"	8/6,7	—	○ ○	
平成元	"	8/5,6	川野正夫	△ ●	初日8時半打ち切り、実行委員会組織発足
" 2	明原まつり第1回	8/25,26	片岡義一	○ ●	子供神輿1時半～、二日目途中で雷雨中止
" 3	" 第2回	8/24,25	"	○ ○	民連団体15参加
" 4	" 第3回	8/22,23	一ツ柳昭三	○ ○	子供神輿1時～、親子会児童ポスター掲示
" 5	" 第4回	8/21,22	"	○ ○	会場設営後雷雨実施、各団体代表者会、子供樽神輿
" 6	" 第5回	8/20,21	"	○ ●	二日目雷雨中止
" 7	" 第6回	8/19,20	"	○ ○	
" 8	" 第7回	8/24,25	"	○ ○	初日設営後降雨
" 9	" 第8回	8/16,17	"	△ △	
" 10	" 第9回	8/23,24	"	△ △	
" 11	" 第10回	8/19,20	"	○ ○	柏中改築のためバスケットコート使用
" 12	" 第11回	8/19,20	"	○ ○	
" 13	" 第12回	8/18,19	"	△ ○	設営後降雨
" 14	" 第13回	8/17,18	"	○ ●	二日目降雨中止
" 15	" 第14回	8/16,17	"	● ●	雨天-体育館使用
" 16	" 第15回	8/21,22	"	○ ○	会場入口変更
" 17	" 第16回	8/20,21	"	○ ○	ペット自粛依頼
" 18	" 第17回	8/19,20	代・池田	○ ○	
" 19	" 第18回	8/18,19	大内邦夫	○ ○	禁煙表示
" 20	" 第19回	8/23,24	"	△ ●	初日少雨決行、二日目40分後体育館へ
" 21	" 第20回	8/22,23	"	○ ○	会場入口復元、神輿軽量化(1基)、子供樽舞台で踊る
" 22	" 第21回	8/21,22	"	○ ○	掲示板縮小、提灯新調
" 23	" 第22回	東日本大震災のため中止・被災地への義援金拠出に代える			
" 24	" 第23回	8/18,19	佐藤光男	○ ○	神輿巡行路一部変更
" 25	" 第24回	8/17,18	"	○ ○	神輿巡行路一部変更、4時半より
" 26	" 第25回	8/23,24	"	○ ○	柏中新体育館工事中、提灯LED化
" 27	" 第26回	8/22,23	"	○ ○	募集ポスター代表作品場内掲示
" 28	" 第27回	8/20,21	"	● △	新体育館トイレ使用、テント新調、トランシーバ使用

○:晴れ、△:曇/雨、●:雨

<関係団体>

「明原まつり」は、文字どおり明原町会が中心になり実施されていますが、多くの人達に支えられています。会場を提供してくれる柏中や、模擬店を出店するのは柏中後援会・PTA・生徒です。明原の親子会は、まつりのポスターの募集、掲示を行っています。また、盆踊りを指導してくれる踊りの先生による練習会には、親子

会や寿会が参加しています。その他、警察や市の関係部署、医療機関への届出や連絡も行っています。

<準備作業>

明原まつりの開催は8月後半ですが、5月頃に関係団体による最初の連絡会が行われ、準備作業が進められています。

祭り直前の準備作業では、重量物である舞台の設置や電灯やマイクの配線は、外部業者に依頼しています。町会が分担している作業では、テントを張った本部の設営や提灯の取り付けがあります。また、サッカーのゴールポストを利用して、祭りのポスターや寄付の掲示板を設置することや、寄付のお礼のお返しを準備する作業もあります。その他、自転車置き場の設定、体育館内のトイレまで土足で行けるよう床面カバーの設置なども行っています。

祭り開催中は、本部テントにいる役員などの他に、場内や横断歩道のパトロールなども行われています。その他の関係団体も、それぞれに準備や後片付けを分担しています。

<踊りの準備>

回を重ねるごとに工夫が凝らされてきました。最近は事前の練習会が行われるようになりました。盆踊の選曲に知恵が込められているだけでなく、皆が踊りやすいように曲の速さなども調整されています。当日の実施状況がリアルタイムでインターネットで見られるようになりました。



明原まつりの盆踊り(平成25年8月)

<こども神輿>

明原まりつが行われる午後には、こども神輿が行われます。こども神輿は親子会

のお母さん達の手作りで、樽に手作りの花びらを付けたものです。

神輿を担げない小さい子供たちは、神輿に付けた出し紐を引き、お父さん達がおぐ大きなうちわの風を浴びながら、町内を元気な掛け声で巡回しています。神輿のルートなどやり方については、前回の反省をもとに見直しが行われています。



明原まつりのこども神輿(平成 25 年 8 月)

7.2 西口第一公園と D51 (デゴイチ) ふれあい祭り

「機関車公園」の愛称で親しまれた公園が、このお祭りで、更に多くの子ども達に愛されるようになりました。「蒸気機関車 D51453」は、約 35 年間の務めを果たし、昭和 49 年に、ここに静態保存されました。

「D51 (デゴイチ) ふれあい祭り」は、平成 20 年、傷みの激しい車体の修繕・再塗装に着手、翌年の工事完了を祝っての、子ども向けのイベントです。平成 22 年 5 月 5 日 (こどもの日) 以降、毎年開催されています。

現役時代の姿を取り戻した汽車の運転席での笑顔、ミニ SL に乗車しての爽快感に満ちた表情等、まさに子供天国。消防車や白バイ乗車。イベントコーナー、模擬店もあり活況です。

<関係団体>

D51 (デゴイチ) ふれあい祭りは、最初、明原・あけぼの・篠籠田の 3 町会で主催されました。その後、より一層地域の活性化を図るため、平成 24 年から、「豊四季台地域ふるさと協議会」の主催で開催することになりました。その他、下記の後援、協力で行われています。

後援：柏市教育委員会、豊四季台西地区社会福祉協議会、柏市第一区青少年健全育成協議会、柏中学区学校支援協議会

協力：柏警察署、篠籠田消防団、柏中ボランティア部、D51 保存会



D51 ふれあい祭りのミニ SL(平成 25 年 5 月)

出所：柏市ふるさと協議会連合会のウェブ・ページ



D51 ふれあい祭りの模擬店(平成 25 年 5 月)

出所：柏市ふるさと協議会連合会のウェブ・ページ

7.3 西口第二公園の里親活動

< 柏市の公園里親制度 >

市民が「市内の公園の里親」となり、親が子供を大切にするように愛情を持って

公園の美化活動をするボランティア活動です。公園の清掃・除草作業や、遊具等の点検による情報提供が主な活動となります。活動に必要な物品、用具の提供、貸与および、活動中に発生した事故についての補償があります。平成 28 年 1 月現在、51 の団体が 64 の公園や緑地の里親活動を行っています。

<西口第二公園の活動>

平成 23 年 3 月、明原町会は「柏市公園里親合意書」を市長と取り交わし、活動を開始しました。その内容は下記事項です。

- ・公園内及び公園周囲の散乱ごみ及び落葉の清掃
- ・除草等軽易な作業や、植栽の軽易な手入れ
- ・公園施設の破損、管理に支障を及ぼす情報提供
- ・公園の環境美化に関する事項

平成 27 年まで、年間平均 20 日、参加者延べ 800 名を超す状況です。現在、町会の環境部が窓口になり、使用し易い、憩いの場に相応しい公園の維持に、町会挙げて取り組んでいます。

7.4 敬老会

福祉関係事業の一環として、敬老会の開催があります。昭和 50 年代後半からの活動を略記します。表 7-4-1 に敬老会の開催状況を示しました。

表7-4-1 敬老会の実施状況（昭和57年以降の記録）

年度	月/日	招待者数	備 考
昭和 57	10/	不明	
昭和 58	11/7	207	以後、豊四季台近隣センター和室使用
昭和 59	10/29	203	
平成 4	10/25	227	出演：親子会、踊りグループ等
平成 10	10/24	301	
平成 15	11/2	361	太鼓演奏、記念品（新米、焼き海苔、饅頭等）
平成 20	10/26	437	記念品、舞台の検討（21年度から変更）
平成 25	10/26	330 *	会場は1F、舞台設置、記念品（商品券）
平成 27	9/27	355	実施期日繰り上げ、舞台位置変更（中央部分）
平成 28	9/25	344	

* 平成24年度に招待者年齢を70歳から75歳に改めた。

<開催日>

「敬老の日」を過ぎた 10 月末頃に開催してきたのには、理由があったからだと思われる。

平成 9 年まで、地区合同の敬老会（豊四季台西地区社会福祉協議会・12 町会・民生委員・児童委員参加・市から記念品・アトラクション等）が、柏中講堂（体育館）にて敬老の日に行われました。そのため、各町会単位の開催が影響を受けたものと思われる。（例えば、平成 3 年度の地区敬老会は、9 月 15 日開催で、対象者は 1,073 名でした。）

なお、明原町会の敬老会は、平成 27 年度から実施を 9 月に繰り上げるようになりました。

＜実施態勢と今後＞

各団体代表者会議（サークル、明原第一・第二寿会、明原親子会、町会役員）のメンバーに加えて、制度ボランティア（民生委員・児童委員、主任児童委員、健康づくり推進員）の協力のもと、町会の総力を結集して取り組んでいます。

会員の高齢化とともに、今後、招待者数の変化など諸課題が派生してくると思われます。

7.5 防犯・防災活動

明原町会には、防犯・防災部や明原町自主防災会があり、防犯・防災活動を行ってきました。

＜防犯パトロール＞

町会としての防犯パトロールは、昭和 20 年代から行われており、近年は次のような活動を実施しています。

柏市防犯協会、柏警察署から任命された防犯指導員 13 名と、ボランティア数名とでパトロール隊を編成。町内各丁目毎に巡回し、空巢、自動車・自転車盗難等の未然防止に努めています。特に、年末年始には、「戸締り用心 火の用心」の呼びかけも併せて実施しています。

児童への見守り活動としては、柏第一小学校の登下校時、及び柏中学校構内の定期的巡回を行っています。

その他、街路灯（防犯灯）の管理・交換依頼なども町会の仕事です。

＜明原町自主防災会＞

災害対策基本法（昭和 32 年制定）に基づき、柏市防災会議が設置されており、平成 6 年には、大部の柏市地域防災計画が発行されました。同計画に従い柏市の要請により、平成 10 年には明原町自主防災会が結成されています。

地域防災計画の基本的考え方の一つは、自助・共助・公助の役割分担です。自助は各自や隣近所、共助は町会自治会など、公助は市役所、消防署、警察や場合によっては自衛隊などが行う事項です。大規模災害時には、市役所などの公助だけでは対応できず、町会の自主防災会も、種々の役割を果たすことが求められています。

明原町会会長が明原町自主防災会の本部長を務め、町会役員等が自主防災会の役員を務める組織となっています。あまり知られていないかもしれませんが、各町会の班長さんも自主防災会の委員として登録されています。

＜災害時要援護希望者＞

地域の高齢化が進展する中で、災害時には、高齢者の援護が重要事項の一つになっています。平成 24 年に明原町会では、災害時に援護を希望する方々の調査を行

い、その名簿を町会が管理しています。防災訓練ではその名簿に従い、援護希望者の安否確認の訓練が行われています。また、毎年の防災訓練の際に、災害時援護希望者の名簿の見直しも行われています。

なお、柏市としても、同様の趣旨の「柏市防災福祉 K-Net」の制度があり、避難行動要支援者として申請して登録することができます。大規模災害時には、近隣センターから、各町会の避難行動要支援者の情報が提供されることになっています。

<防災訓練>

東日本大震災を契機に、その 2 年後の平成 25 年 3 月から、明原町会の防災避難訓練が始められました。指定避難場所の柏中への町民の避難と、災害時援護希望者の安否確認の訓練を毎回実施してきました。それに加え、毎年、訓練イベントを計画し実施しています。

訓練イベントとしては、柏市役所防災安全課、旭町消防署、その他の指導・協力により消火訓練、AED の使用訓練、応急処置用三角巾の使用方法、災害用備蓄資機材の見学、指定避難所である柏中体育館の災害時用施設見学などが行われました。

防災訓練は、柏中、移動交番車を派遣してくれる柏警察署、民生委員・児童委員、町会のボランティア登録者などのご協力で行っているものです。

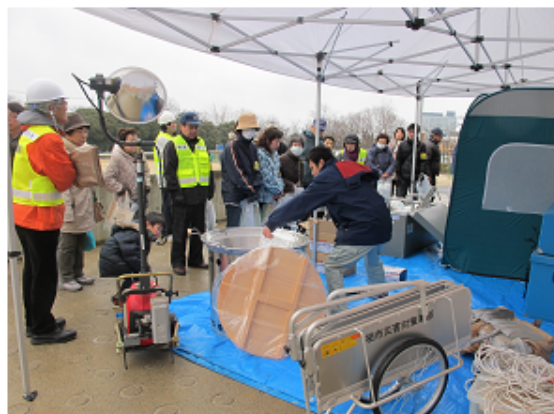
少雨決行

正味 2 時間の防災訓練ですが、明原町内外の多くの方々の協力で実施しているもので、準備には想像以上に手間が掛かっています。

数ヶ月前に決めた当日の天候は、お天気次第です。1、2 年目は天候に恵まれました。3 年目は小雨模様でしたが、中止するのは残念なので実施しました。4 年目はかなりの雨でしたが、柏中の体育館内で行いました。



消火訓練



災害用備蓄資機材の見学

防災訓練(2015 年 3 月)

<大規模災害時の備え>

阪神淡路大震災のような大規模災害時には、各近隣センターに地区災害対策本部が設けられます。行政無線が設置されており、電話が不通の場合にも、豊四季台近隣センターに行けば、救急車通報をすることができます。また、柏市からの災害情

報や、柏市への被害報告も行えます。

明原の場合、柏中学校と西口第一公園が指定避難場所であり、また、柏中学校体育館と豊四季台近隣センターが宿泊できる指定避難所となっています。

柏中には、災害時用に耐震性井戸付貯水装置が設置されており、柏中と豊四季台近隣センターには、防災備蓄倉庫が設けられています。

平成 27 年に竣工した柏中の新体育館は、避難所として種々の配慮が盛り込まれています。災害避難時には、明原の他に、旭町その他の方々も避難することになると思われ、施設管理者の柏中教職員と町会が協力して避難所の運営を行うことが想定されています。

7.6 以前に行っていた地域活動

地域環境の変化などにより、今は行っていない地域活動もあります。

<床下消毒と殺鼠・殺虫剤配布>

昭和 50 年代後半頃から平成 8 年にかけて、環境衛生関連の主要な活動として、床下消毒と殺鼠・殺虫剤配布が取り上げられました。

床下消毒は、毎年、雨季に実施されました。町会役員総出のほか、アルバイト学生 10～12 名を含めた態勢でした。市から借用した噴霧機は電動式で、小型ながら薬剤溶液を満たすと、かなりの重量がありました。

電源は各家庭のコンセントからで、指定された家屋の通気口から床下内部に、数秒間噴霧するのですが、通気口の位置によって難易の差が伴いました。

予め希望をとり、日時を知らせ、当日を迎えるのですが、巡回経路の変更があったり、家人の要望で噴霧箇所を増したりなど、時間の調整に苦労しました。

雑草をかき分け通気口を探したり、蜂の巣に触れて軍手の上から刺されたりもしました。戸建て住宅が主でしたが、一日を費やしての作業は大変でした。

殺鼠剤と殺虫剤も、この時期、希望世帯に配布されました。

集合住宅が増え、家屋の様式も近代化され、消毒も、ネズミや害虫等の問題も、各家庭に委ねられました。昔日の感を深くします。

8. 地域と地域活動への思い

地域活動はボランティアに支えられた活動です。地域や地域活動に対する思いを紹介しました。

< 私の柏 — 落合尚男 >

(勤労働員)

昭和 18 年 8 月 15 日～20 日 在籍校(旧制・県立千葉中学校、現・千葉高等学校)第 4 学年の級友と共に、柏・十余二(現・柏の葉公園一帯)の陸軍第 105 飛行部隊での勤労作業に従事しました。(資料：千葉中 第 59 期 卒業記念文集より)

当時、米軍 B-29 機の邀撃に用いた「二式戦闘機、鍾馗」の掩蔽壕(機体を爆撃から護る土塁)構築が主な作業でした。兵舎での軍隊並みの生活と、炎天下の過酷な作業には参りましたが、轟音と共に離着陸を繰り返す鍾馗の勇姿に励まされました。

雑魚寝の夜は、死んだように眠りこくるだけで、朝の起床ラッパが疎ましい限りでした。

何日目かの早暁、ふと目覚めた私は、忍び足で外に出してみました。清涼な大気。東天を彩る仄かな紅。広大な滑走路の果てに連なる木々の黒い帯。荘厳さの漂う静寂の中であって、我を忘れて佇みました。“なんと素晴らしい この柏の大地よ！”

(流転)

昭和 20 年 7 月 6 日の深夜から 7 日未明にかけ、B-29 の千葉市大空襲(死者 1,204 焼失家屋 8,389 戸)で被災。以後、転々と、居が定まらない状態が長く続きました。

昭和 32 年、結婚を機に、新たな土地求めに本腰を入れ始めました。市川、松戸、柏の候補地を踏査した結果、柏に決めました。家内の思い入れと、勤労働員の、あの感動が底流にあったと、今でも信じています。

(大草原の小さな家)

土地を得たものの、区画整理事業の対象区域内のため、家の建築は無理でした。何度かの交渉の末、計画道路(図面上の)を外してなら可、の条件で設計に着手しました。敷地の半分程度が、8 メートル道路に影響されるので、“極小住宅”しか望めません。

昭和 36 年着工、翌 37 年竣工。やっとの思いで入居を果たし、市民の仲間入りとなりました。四面はススキの原、挨拶を交わす隣人は、ポツポツと数軒。野趣満々の“草原の小屋”でした。

(地域の一員)

“千葉都民”の一人で、地域に疎遠だった私に、声をかけて下さったのは、根本三郎町会長さんでした。役員と伺って即座にお断りしたのですが、結局、事もあるうに「監査」ということに。

幸い、二年目は職務上の理由が認められ免除。しかし、「リタイヤしたら、もう逃げるなよ」と念を押され困惑。昭和 55 年のことでした。

昭和 63 年、退職。平成元年、岩谷会長さんのもとで常任理事。平成 3 年、中島副会長の急逝で代行。翌年から副会長に。18 年間曲がりなりにも務め、平成 21 年

会長に。

皆様の支えを戴きながら、町会の一員として、責めを果たしていければと、切に願っております。

< 町会活動への思い ― 長坂幸夫 >

6 年前、落合会長と接する機会があり、当時職から解放されていた私は、町会で行事があったときにはお手伝いしますよ、と会長にお話しをしました。それからすぐに、「理事をお願いします」と頼まれ、町会の事は回覧板があることさえも知らなかった私ですが、それから町会との関わりが始まりました。そんな中で、町会の方々が大変なご苦労していることを知りました。

3 年前になりますが、皆さんに町会の行事などを知ってほしい、皆さんにも協力をしてほしいとの思いから、町会の交流の一環として、お花見の会を提案致しました。

今回の熊本県の地震では、ある地区では、町の消防団が初期活動に大変ご活躍されたと報道されました。明原町には消防団は有りません。もし水害や地震が発生したら混乱するでしょう。そこで消防団に代わるボランティア部を作ったらどうかとも考えています。

お花見の会は、交流会として皆さんに是非参加して頂きたいし、将来的にはクラブ活動なども作って交流を図っていきたいと考えています。お花見の会は今年で 3 回目になりますが、参加者は町会関係者が多数です。町会の団結力を強いものにする為に、是非皆さんに参加して頂きたいと願っております。